| 学校番号 | ３０２８ |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科（美術）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅰ | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「美術１」　（光村） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・形態や色彩、材料や光などの造形の要素の働きについて知り、目的や条件、美しさなどについて考え、個性豊かに表現していきましょう。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の扱い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品途中や完成後に振り返りや相互評価を行い、作品に対する造形的な視点や相互理解を深め自己の価値観を高める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現の意図と創意工夫、生活や社会を心豊かにする造形や美術の働きなどについて考え、主題を生成し、主題を基に新しいものをつくり出すという観点に立って個性豊かに発想し構想を練ったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 形や色彩、材料や光などの造形の要素の働きや造形的な特徴について理解を深めるとともに、主題に沿った表現をしている。<br>また、材料や用具の特性を生かして表現方法を工夫し個性豊かで創造的に表している。 | 造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことから主題を生成し、個性豊かに創造的に表現している。また他者の作品の良さを造形的な視点から理解し自身の作品への客観的視点が養えている。 | 主体的に造形的な資質・能力を発揮しよう、身に着けようと創意工夫して実現しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | オリエンテーション | ・年間計画のガイダンス<br>【表現】【絵画・彫刻】<br>・人物クロッキー<br>生徒相互がモデルになってクロッキーをする。人物の骨格、重心、バランス、動勢などに注意する。<br>毎授業開始時に行う。 | a: 骨格、比率などを捉えて描いている。 | クロッキー帳 | | |
| | 自己をあらわす　自画像 | 【表現】【絵画・彫刻】<br>・時とともに変わりゆく自分や、変わらない自分らしさ、自身の内と外から探究し自分を表現する。<br><br>1. 作品を鑑賞する<br>教科書に掲載している作品やスライドについて何が描かれているかを考えながら鑑賞する。<br>2. 構想を練る<br>自分の今までの活動や関心のある出来事をワークシートに書き出す。書き出したキーワードからアイデアスケッチを数枚描く。<br>3.アイデアスケッチをもとに制作<br>今までに習得した技法などを生かしながら、目指すイメージを確認しながら描きすすめる。<br><br>【相互鑑賞】<br>グループに分かれ完成した作品についてコメントし、自分の作品について説明する。 | a:色や形、材料が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、自己をあらわした作品を全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かし、主題を追求し創造的に表現している。<br><br>b:自己を見つめ感じとったことや考えたことから主題を生成し、材料の質感や表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。<br>c:主体的に自己を見つめ感じとったことや考えたことをもとにした表現の創造鵜活動に取り組もうとしている。<br><br>【鑑賞】<br>b:作者の心情や意図と造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫について考え見方・感じ方を深めている。 | 制作中の作品<br><br>提出作品 | ワークシート<br><br>提出作品<br><br>ワークシート | 取り組み状況<br><br>ワークシート<br><br>提出作品<br><br>振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 空想・動物をモチーフにしたオブジェをつくろう | 【表現】【デザイン・彫刻】<br>空想・動物をモチーフにしたオブジェを作ろう。<br>・動物を抽象的にデザインし造形していく。<br>1.主題の設定<br>目的、伝えたいイメージを選択し資料を集め(写真資料等の収集 )、表現したい主題を生み出す。<br>2.構想を練る①<br>アイデアスケッチをする<br>3.構想を練る②<br>グループでアイデアスケッチと表現の意図を発表し、意見交換する<br>三面図をかく<br>5.制作<br>石粉粘土で成形<br>サンドペーパーで研磨して仕上げる<br><br>【相互鑑賞】<br>お互いの作品についてコメントする。 | a:選択した動物の造形的特徴（形やイメージ）として捉えることを理解している。立体制作の進め方や用具の効果的な使い方、素材の特性を理解して表現の方法を創意工夫し造形的特徴において主題を追求して創造的に表している。<br><br>b:選択した動物から主体的に発想し抽象的なデザインを生成している。造形的特徴や技法の特性を生かした表現の構想を練っている。<br><br>c:立体表現の魅力に触れ、石粉粘土の特性と道具を用いた各工程を理解し、効率よく丁寧に作業し、主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。全体の見通しを持って取り組もうとしている。<br><br>【鑑賞】<br>b:塑像表現のよさや美しさ、他の生徒の制作意図や表現の工夫を感じ取り、立体作品への見方や感じ方を深める。 | ワークシート<br><br>三面図<br><br>取り組み状況<br><br>制作中の作品<br><br>提出作品 | ワークシート<br><br>提出作品<br><br>相互鑑賞カード | 取り組み状況<br><br>制作中の作品<br><br>振り返りシート |
| | 文芸発表 | 【鑑賞】<br>12月校内展示を行う。<br>原則として、全員前期課題を展示する。<br>・相互鑑賞 | b:作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、その人独自のものとして尊重している。<br>表現のよさや効果的な工夫を感じ取り、それに対して自己の意見を述べることができる。 | | 交流用紙 | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度